

## 18 文化活動の促進

①施策の展開	文化活動の促進	課名	文化スポーツ振興課
②取組概要	<p>活動・発表・鑑賞の場や情報の提供を行うとともに、人材・団体などを育成・支援するなど、市民が自主的に文化活動を行うための条件整備を図る。また、地域交流センターなどを活用し、文化活動の発表の場、鑑賞の機会の充実を図ることにより、市民相互の交流・連携を深める。</p>		
③構成取組	<p>(1) 文化施策振興事業  (2) 文化団体の育成支援  (3) <u>アルカスホール</u><sup>(35)</sup>管理  (4) 池の里市民交流センター管理運営</p>		

④取組計画	<p>(1) 「市民たそがれコンサート」や「市民文化祭」、「寝屋川ミュージックデー」を引き続き実施する。</p> <p>また、アルカスホール(地域交流センター)のスタインウェイピアノをより一層活用するため、新たに全国規模の「アルカスピアノコンクール」を開催するとともに、ミュージカル「寝屋のはちかづき」を実施する。</p> <p>(2) 市民が自主的に文化活動を行うために、人材・団体の育成・支援などの条件整備を図る。</p> <p>(3) アルカスホールにおける稼働率の向上と利用者の利便性を図るため、利用料金の引下げを行うとともに、引き続き積極的に自主事業を展開するなど、アルカスホールのより一層の活性化を図る。</p> <p>(4) 池の里市民交流センターでは、利用者が安全で安心して文化・スポーツ活動に取り組める環境づくりのため、体育施設耐震補強等工事を実施する。</p>		
-------	--	--	--

⑤取組実績

(1) 「市民たそがれコンサート」や「市民文化祭」、「寝屋川ミュージックデー」を引き続き実施し、様々な文化の活動・発表・鑑賞の機会を提供した。

新たに「アルカスピアノコンクール」及びミュージカル「寝屋のはちかづき」を開催した。ピアノコンクールについては、全国 22 都府県からの参加者があった。

<主な文化施策振興事業の参加状況>

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
市民たそがれコンサート	505 人	1,033 人	529 人
市民文化祭	延 14,458 人	延 9,885 人	延 9,720 人
寝屋川ミュージックデー	—	2,285 人	2,241 人
アルカスピアノコンクール	—	—	延参加者 635 人
ミュージカル 「寝屋のはちかづき」	—	—	小学 4 年生 2,073 人 一般 601 人
市美術公募展 (入選作品展) ※隔年	—	720 人	—
寝屋川音楽祭～クラシック in ねやがわ～※隔年	—	990 人	—
寝屋川音楽祭～みんなで作る第九コンサート～ ※5年毎	1,071 人	—	—

・ 文化スポーツ情報誌「つながる」を、年 4 回発行し、文化・スポーツイベントの内容など、必要な情報を提供した。

(2) 文化関係団体へ支援を行うとともに、文化振興会議<sup>(36)</sup>を 3 回開催し、諮問テーマ「今後、寝屋川市が重点化すべき文化施策について」に関する検討を行った。

(3) 地域交流センター(アルカスホール)における稼働率の向上と利用者の利便性を図るため、利用料金の引下げを行うとともに

に、指定管理者と連携し、積極的に自主事業を展開するなど、アルカスホールのより一層の活性化を図った。

<地域交流センター(アルカスホール)利用状況>

	平成24年度 使用回数(回)			平成25年度 使用回数(回)		
	平日	土日祝	合計	平日	土日祝	合計
メインホール	45	103	148	61	101	162
ギャラリーなど その他施設	581	464	1,045	705	507	1,212
合計	626	567	1,193	766	608	1,374

	平成24年度 入場者数(人)			平成25年度 入場者数(人)		
	平日	土日祝	合計	平日	土日祝	合計
メインホール	9,881	24,464	34,345	9,724	22,203	31,927
ギャラリーなど その他施設	12,969	12,891	25,860	14,808	16,481	31,289
合計	22,850	37,355	60,205	24,532	38,684	63,216

平成24年度	メインホール	稼働率	43.9%
平成24年度	全施設	稼働率	49.6%
平成25年度	メインホール	稼働率	47.5%
平成25年度	全施設	稼働率	56.1%

<自主事業の実施状況>

- ①アルカスピアノコンクール応援プラン 138人
- ②こどもカーニバル 1,165人
- ③アルカスハッピーデイ 457人
- など、計27事業 4,824人

(4) 池の里市民交流センターの管理運営においては、施設利用者が安全で安心して利用できるよう、体育施設の耐震補強等工事

を行うとともに、多目的室や体育施設など、適切な維持管理に努め、多くの市民に活動の場を提供した。

<多目的室（分野別利用者数）>

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
舞踊	5,140人	4,754人	5,931人
美術	2,704人	1,616人	1,509人
工芸	2,115人	2,886人	3,798人
音楽	2,082人	2,114人	2,020人
教養	10,604人	9,835人	12,387人
スポーツ	3,164人	3,878人	5,171人
合計	25,809人	25,083人	30,816人

<体育施設利用状況>

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
団体利用	53,711人	56,572人	57,496人
個人利用	612人	477人	338人
合計	54,323人	57,049人	57,834人

⑥評価

(1) 平成24年度に実施した「文化のたねを育てよう事業」の実施により、市民の文化活動の実態把握や支援・協働の推進につながった。さらに、全国規模の「アルカスピアノコンクール」やプロによる本格的なミュージカル「寝屋のはちかづき」の実施により、音楽文化・地域文化の活性化を図ることができた。市民文化祭では、入場者数が減少傾向にあることから、今後の対応を検討する必要がある。

(2) 文化振興会議において、専門的な見識によるアドバイスを受けたことにより、各事業の推進に大きく寄与した。

なお、文化に関わる人材・団体の育成支援は、今後とも市民の文化活動の実態、ニーズを掌握して適切な方策の検討が必要である。

(3) アルカスホールの効率的・効果的な管理運営を行うために、指定管理者との間で月例報告会を行い、有効的な活用について積極的に意見交換を行っている。今後も、稼働率の向上はもちろんのこと、さらなる文化振興とにぎわいの創出に向け、指定管理者と協議しながら多様な取り組みを推進していく必要がある。

(4) 池の里市民交流センターを市民が安全で安心して利用することができるよう、体育施設の耐震補強等工事を実施した。また、多様な用途に使われている多目的室や体育施設のさらなる有効活用を検討していく必要がある。